

ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書（保管事業者及び所有事業者用）

令和7年6月10日

千葉市長 殿



届出者
住 所 千葉市若葉区加曽利町889
氏 名 千葉県産業支援技術研究所 所長 阿久津 和司
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 043-231-4325

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法第8条第1項（法第15条及び第19条において読み替えて準用する場合を含む。）の規定に基づき、令和6年度のポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分の状況等を届け出ます。

1. ポリ塩化ビフェニル廃棄物について

保管事業場の名称	千葉県産業支援技術研究所 天台庁舎				
保管事業場の所在地	千葉市稲毛区天台6-13-1				
特別管理産業廃棄物管理責任者の職名及び氏名	研究員 庄野 巧			電話番号	043-231-4326
保管の場所	所在地と同じ				

①前年度の3月31日に保管していたポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					処分 予定 年月	量		濃度 区分	保管の状況				処分業者との 調整状況	参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等		台数又 は容器 の数	総重量 （1台当たり 重量×台数）		容器 の 性状	囲い 等の 有無	分別・ 混在の 別	漏れ等 の おそれ		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

②前年度中に新たに保管することとなったポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度 区分	保管開始 年月日	保管開始 理由	参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台当たり 重量×台数)				

③前年度中に他の事業場又は他の事業者の事業場において保管することとなったポリ塩化ビフェニル廃棄物（④の場合を除く。）

番号	廃棄物の 種類	廃棄物の型式等					量		濃度 区分	保管終了 年月日	保管終了 理由	移動先の保管の場所並びに事業者 又は事業場の名称及び所在地	参考事項
		定格 容量	製造者 名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台当たり 重量×台数)					

④前年度中に自ら処分し、又は処分を委託したポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の 種類	廃棄物の型式等					量		濃度 区分	自ら処分した場合		処分を委託した場合			参考事 項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年 月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台当たり 重量×台数)		処分 年月 日	処分後の廃棄物の 種類及び処分先	処分委託 年月日	処分受託者 の名称	処分 年月日	
26-002	微量PCB汚 染絶縁油						1	0.3kg	低濃 度			R7.1.28	群桐エコロ (株)	R7.2.19	実測により 重量修正
30-001	コンデン サ	0.1μF	日本コン デンサ工 業	CP721A3T 104V	1970- 1972		9	0.9kg	低濃 度			R7.1.28	群桐エコロ (株)	R7.2.19	実測により 重量修正 製造年月の 錯誤

30-002	コンデンサ	0.5 μ F	日本コンデンサ工業	CP721A3A 504V	1972		2	0.2kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	
30-003	コンデンサ	1 μ F	日本コンデンサ工業	CP721A3E 105V	1971		1	0.3kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	
30-004	コンデンサ	2 μ F	日本コンデンサ工業	CP721A3A 205V	1967		1	0.6kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	型式、製造年月の錯誤
30-005	コンデンサ	4 μ F	日本コンデンサ工業	CP721A3E 405V	1970		1	1.3kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	実測により重量修正
30-006	コンデンサ	8 μ F	日本コンデンサ工業	CP721A3A 805K	1972		1	1.5kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	
30-007-1	コンデンサ	6 μ F	日本コンデンサ工業	CP721A3A 605V	1970		3	1.5kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	定格容量、型式、製造年月の錯誤
30-007-2	コンデンサ	15 μ F	日本コンデンサ工業	CP721A3A 106V	1972		1	0.5kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	定格容量、型式の錯誤
30-008	コンデンサ	0.007 μ F	日本コンデンサ工業	HPL-R188W	1972		2	4.6kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	
30-009	コンデンサ	150 μ F	日本コンデンサ工業	MPF-2150ST	1971		1	3.5kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	
30-011	コンデンサ	0.01 μ F	その他 (SHIZUKI)	HES21N 103/40K10	1970		1	1.3kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	型式、製造年月の錯誤
30-015	変圧器	6.0KVA	その他 (電機精工社)	STH0	1970		1	590kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	型式の錯誤
30-016	分析残渣						1	0.5kg	低濃度			R7.1.28	群桐エコロ(株)	R7.2.19	実測により重量修正

(第3面)

2. ポリ塩化ビフェニル使用製品について

所在事業場の名			
所在事業場の所在地			
ポリ塩化ビフェニル使用製品に係る事業の管理責任者の職名及び氏名		電話番号	
所在の場所			

①前年度の3月31日に使用していたポリ塩化ビフェニル使用製品（高濃度ポリ塩化ビフェニル使用電気工作物を除く。）

[illegible]

②前年度中に新たに所有することとなった高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品（高濃度ポリ塩化ビフェニル使用電気工作物を除く。以下同じ。）

[illegible]

(第4面)

③前年度中に他の事業場又は他の事業者の事業場において所有することとなった高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品

番号	製品の種類	製品の型式等					量		所有終了 年月日	所有終了 理由	移動先の所在の場所並びに事業者 又は事業場の名称及び所在地	参考事項
		定格 容量	製造者 名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台あたり 重量×台数)				

- 備考
- この届出書は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管又はポリ塩化ビフェニル使用製品の所有に係る事業場ごとに作成し、毎年度6月30日までに提出すること。
 - 届出者や事業場に関する情報に変更があった場合には、速やかに都道府県知事に連絡すること。
 - 「保管事業場の名称」及び「保管事業場の所在地」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の場所に係る事業場を記入すること。また、「所在事業場の名称」及び「所在事業場の所在地」の欄には、ポリ塩化ビフェニル使用製品の所在の場所に係る事業場を記入すること。
 - 「番号」の欄には、それぞれ先頭に「前年度の元号数－」を加えた整理番号（平成28年度の保管状況を届け出る場合の例：28-001）を付すこと。なお、前回までの届出において既に当該事業場における番号が付されているものについては、引き続きその番号を記入すること。
 - 「廃棄物の種類」及び「製品の種類」の欄には、記入要領に沿って、その名称を具体的に記入すること。
 - 「廃棄物の型式等」及び「製品の型式等」の欄には、変圧器（トランス）等の銘板に記載されている「定格容量」、「製造者名」、「型式」、「製造年月」及び「表示記号等」を記入すること。なお、「表示記号等」については、記入要領に沿って、その名称を具体的に記入すること（例：不燃性油）。
 - 「処分予定年月」の欄には、高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物を自ら処分し、又は他人に委託することを予定している年月を記入すること。低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物については記入しなくて構わない。
 - 「量」の欄のうち、「台数又は容器の数」の欄には、ポリ塩化ビフェニルを使用する電気機器については台数（個数）を、その他のものについては保管している容器の数（缶数等）を、それぞれ単位とともに記入すること。ただし、電気機器であっても、小型のものを容器にまとめて保管している場合であって台数（個数）を把握することができないときは、保管している容器の数（缶数等）を単位とともに記入すること。
 - 「量」の欄のうち、「総重量」の欄には、ポリ塩化ビフェニルを使用する電気機器については、1台当たりの重量に台数（個数）を掛けた重量を記載すること。その他のものについては、容器込みでの重量を記載すること。
 - 「濃度区分」の欄には、「高濃度」、「低濃度」又は「不明」のうち該当するものを記入すること。なお、「高濃度」とは高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物又は高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品の略称、「低濃度」とは高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物以外のポリ塩化ビフェニル廃棄物又は高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品以外のポリ塩化ビフェニル使用製品の略称である。
 - 「保管の状況」として、新たにポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の状況を届け出る場合や、既に届け出たポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の状況に変更があった場合には、保管しているポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管状況の分かる写真を本届出に添付すること。
 - 「保管の状況」の欄のうち、「容器の性状」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物を保管している容器の有無、容器がある場合にはその種類を具体的に記入すること（例：「ドラム缶」、「なし」）。
 - 「保管の状況」の欄のうち、「囲い等の有無」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物を保管している場所の周囲の囲いの有無及び保管に係る掲示板の有無を記入すること。
 - 「保管の状況」の欄のうち、「分別・混在の別」の欄には、他の物品と分別して保管しているか混在して保管しているかの別を記入すること。
 - 「保管の状況」の欄のうち、「漏れ等のおそれ」の欄には、保管中のポリ塩化ビフェニル廃棄物が漏れたりこぼれ落ちたりするおそれの有無を記入すること。

(第5面)

16. 「処分業者との調整状況」の欄には、高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物及び高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品に係る処分業者との委託契約の締結状況等を記入すること。低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物については記載しなくて構わない。
17. 「参考事項」の欄には、その他保管の状況等を把握する上で参考となる事項を記入すること(例:「屋内で保管」、「絶縁油を抜いたもの」、「PCB濃度△mg/kg」、「今後分析予定」)。なお、保管の場所や所在の場所が複数存在する場合は、各廃棄物及び製品について、その保管の場所又は所在の場所をそれぞれ特定して記載すること。
18. 「保管開始理由」及び「所有開始理由」の欄には、「他の事業場から移動」、「譲受け」及び「承継」のいずれかを記入すること。
19. 「保管終了理由」及び「所有終了理由」の欄には、「他の事業場に移動」、「譲渡し」及び「承継」のいずれかを記入すること。
20. 「処分年月日」の欄には、実際にポリ塩化ビフェニル廃棄物の処分が終了した日を記入すること。
21. 「処分後の廃棄物の種類及び処分先」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物を処分した後に生じた廃棄物の種類及び処分先を記入すること。
22. 「①前年度の3月31日に使用していたポリ塩化ビフェニル使用製品(高濃度ポリ塩化ビフェニル使用電気工作物を除く。)」の表は、高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品以外のポリ塩化ビフェニル使用製品については、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管事業者が、本施行規則第9条第1項第5号又は第20条第1項第5号の規定に基づき、記載するものである。
23. 「高濃度ポリ塩化ビフェニル使用電気工作物」とは、電気事業法(昭和39年法律第170号)第2条第1項第18号に規定する電気工作物である高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品をいう。
24. この届出書において、「廃棄」とは、ポリ塩化ビフェニル使用製品の使用を止め、廃棄物とすることをいう。
25. 「廃棄予定年月」の欄には、高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品を廃棄することを予定している年月を記入すること。低濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品については記載しなくて構わない。
26. この届出に係るポリ塩化ビフェニル廃棄物の処分についての産業廃棄物管理票の写し(廃棄物処理法第12条の3第4項又は第12条の5第5項の規定による送付を受けた産業廃棄物管理票の写しをいう。以下同じ。)を複写機によりA3判以下の大きさの用紙に複写したものを添付すること。なお、電子情報処理組織を使用するためこれらの書類を添付することができない場合は、当該これらの書類に代えて、当該これらの書類に記載される事項に相当する事項を記録した電磁的記録をA3判以下の大きさの用紙に出力したものを添付すること。ただし、6月30日において、産業廃棄物管理票の写しの送付又は廃棄物処理法第12条の5第4項の規定による通知を受けていないため添付すべき書類を添付することができないときは、その産業廃棄物管理票の写しの送付のあった日又はその通知のあった日から10日以内に提出すること。
27. その他環境大臣が定める書類及び都道府県知事が必要と認める書類を添付すること。
28. 都道府県知事が定める部数を提出すること

産業廃棄物管理票 (マニフェスト) E 票

[直行用]

交付年月日	2025 年 1 月 28 日	交付番号	55853958720	整理番号		交付担当者	石川 隆明			
事業者 (排出者)	氏名又は名称 千葉県産業支援技術研究所			事業場 (排出事業場)	名称 千葉県産業支援技術研究所 千葉庁舎					
	住所 〒 294-8017 電話番号 043-231-4325				所在地 〒 293-0016 電話番号 043-232-2191					
	千葉県千葉市若葉区加勢町889番地				千葉県千葉市稲毛区天台6丁目18番1号					
産業廃棄物	☐ 種類(普通の産業廃棄物)				☒ 種類(特別管理産業廃棄物)				数量(及び単位)	荷姿
	☐ 0100 燃えがら	☐ 1200 金属くず	☐ 7000 引火性廃油	☐ 7424 燃えがら(有害)	258kg × 1 袋		PCB			
	☐ 0200 汚泥	☐ 1300 ガラス、陶磁器くず	☐ 7010 引火性廃油(有害)	☐ 7425 廃油(有害)	123kg × 23 袋		産業廃棄物の名称			
	☐ 0300 廃油	☐ 1400 鋳さい	☐ 7100 強酸	☐ 7426 汚泥(有害)	産業廃棄物の名称		低濃度 PCB 廃棄物			
	☐ 0400 廃酸	☐ 1500 がれき類	☐ 7110 強酸(有害)	☐ 7427 廃酸(有害)	有害物質等		処分方法			
	☐ 0500 廃アルカリ	☐ 1600 家畜のふん尿	☐ 7200 強アルカリ	☐ 7428 廃アルカリ(有害)	PCB		焼却			
	☐ 0600 廃プラスチック類	☐ 1700 家畜の死体	☐ 7210 強アルカリ(有害)	☐ 7429 ばいじん(有害)	備考・通信欄					
	☐ 0700 紙くず	☐ 1800 ばいじん	☐ 7300 感染性廃棄物	☐ 7430 13号廃棄物(有害)	☐ 水銀使用製品産業廃棄物					
	☐ 0800 木くず	☐ 1900 13号廃棄物	☒ 7410 PCB等	☐ 7440 廃水銀等	☐ 水銀含有ばいじん等					
	☐ 0900 繊維くず	☐ 4000 動物系固形不要物	☐ 7421 廃石綿等		☐ 石綿含有産業廃棄物					
	☐ 1000 動植物性残さ		☐ 7422 指定下水汚泥		☐ 特定産業廃棄物					
	☐ 1100 ゴムくず		☐ 7423 鋳さい(有害)							
中間処理 産業廃棄物	管理票交付者(処分委託者)の氏名又は名称及び管理票の交付番号(登録番号) ☐ 帳簿記載のとおり ☐ 当欄記載のとおり									
最終処分 の場所	名称/所在地/電話番号 ☒ 委託契約書記載のとおり ☐ 当欄記載のとおり									
運搬受託者	氏名又は名称 群桐エコロ 株式会社			運搬先 の事業場 (処分事業場)	名称 群桐エコロ(株) 焼却 無害化処理施設					
	住所 〒 370-0361 電話番号 0276-55-0500 群馬県太田市新田大町600-26				所在地 〒 370-0361 電話番号 0276-55-0500 群馬県太田市新田大町600-26 及び 2627					
処分受託者	氏名又は名称 群桐エコロ 株式会社			積 又 は 保 管 替 え	名称 群馬県立環境衛生研究所 焼却 無害化処理施設					
	住所 〒 370-0361 電話番号 0276-55-0500 群馬県太田市新田大町600-26				所在地 〒 電話番号					
運搬の受託	(受託者の氏名又は名称) 群桐エコロ 株式会社 中田 真			(受領欄)	運搬 終了年月日	2025 年 1 月 28 日	有価物拾集量	数量(及び単位)		
処分の受託	(受託者の氏名又は名称) 群桐エコロ 株式会社 石原 絵里佳			(受領欄)	処分 終了年月日	2025 年 2 月 19 日	最終処分 終了年月日	2025 年 2 月 09 日		
最終処分を 行った場所	名称/所在地/電話番号 (委託契約書記載の場所にあつては委託契約書記載の番号) 群桐エコロ株式会社 TEL (0276) 55-0500 FAX (0276) 55-0501									

照
合
確
認年 月 日
年 月 日
年 月 日

中間処理業者/最終処分業者/排出事業者/中間処理業者

E 票